

循環器内科診療体制について

(1) 循環器診療の一部停止について

令和 5 年 8 月に神戸市保健所は心臓・下肢カテーテル術において医療安全が確保されていないと判断して心臓・下肢カテーテル術について申し入れを行い、自主的に中止されていた。

是正計画書（令和 5 年 10 月 18 日付）に、新規診療科の開設・再開にはプロジェクトチームを立ち上げ準備することを規定しており、令和 6 年 6 月に新たに循環器内科長（副院長）が赴任し循環器内科プロジェクトチームが発足した。

(2) 今後の循環器診療について

現在、平日は循環器内科医が 24 時間常駐し、休日は待機（30 分以内到着）をして循環器診療をおこなっているが、カテーテル診療は、他病院へ転院させている状況（第 1 段階）である。

令和 6 年 11 月に神戸徳洲会病院より、平日日勤帯における心臓・下肢カテーテル術対応（第 2 段階）に向けた準備について、神戸市保健所に対して相談があった。保健所からは、神戸徳洲会病院が独自に安全に運営していくために、カテーテル診療を審議する機能の設置を指導した。

このため、病院は外部委員※を委嘱し、診療前の準備体制（説明と同意、職員の教育、研修状況および職員配置、実践的訓練など）やカテーテル術開始時の体制（説明と同意、診療に関する安全チェック機能）について審査を受けている。

※外部委員（下記）は神戸市保健所から推薦

神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野 大竹寛雅教授

神戸大学大学院保健学研究科 石田達郎教授

（徳洲会報告資料より抜粋）

第 1 段階	…	24 時間 365 日	循環器内科医が循環器疾患に対応可能（緊急カテは中央市民等へ転送）
第 2 段階	…	平日日勤帯に待機的・緊急カテ対応可能	①月 ②月、水 ③月、水、金 ④平日全て
第 3 段階	…	平日夜間帯に緊急カテ対応可能	①輪番日（二次救急もしくは循環器） ②平日すべて
第 4 段階	…	土日祝の日勤帯に緊急カテ対応可能	
第 5 段階	…	〃 夜勤体 〃	（24 時間 365 日、緊急カテ対応可能）
第 6 段階	…	24 時間 365 日、緊急カテ対応可能な医師が院内常駐	

(3) 循環器内科プロジェクトチームについての評価

第1段階の循環器診療については適切に実施できている。

第2段階の準備について、実践的訓練（外部委員審査）に以下の評価とした。

説明と同意	準備していたが更に取り組むよう助言 ・説明の内容について、より理解しやすく、詳細であるべき。
職員の教育	実施の準備ができている ・引き続き実践に即した勉強会を継続する
職員の研修状況	実施の準備ができている ・他院にて研修しているが、開始時は応援職員をいれて現地指導も実施する
職員配置	実施の準備ができている ・当面は循環器内科専門医2名が入り実施する
実践的訓練 (12月24日監査)	準備していたが更に取り組むよう助言 ・実践的訓練について14回実施していた。 ・救急外来からカテーテル室、HCUを経て病棟までの医療安全の適正が外部委員に審査された。 ・診療体制の準備は整っているが、外部委員からの指摘に加えて、造影剤アレルギーの対応、同意書の確認方法について安全策を講じるよう助言した。
その他	① 事前に治療適応を協議する体制について ・臨床倫理チーム※は当面は全例に介入し、多職種カンファレンスを実施する ② HCUの入退室基準について ・HCUの入退室基準を明確にし、重症患者の管理について明記されていた

第2段階の準備について、おおむね整っているが、一部 改善点を指摘された。

外部委員と医の倫理委員会の評価を受けながら、患者安全を最優先に診療を進めていくよう指導した。

※臨床倫理チーム…医の倫理委員会と連動するチーム。

診療現場において患者への治療適正（超高齢者の侵襲的治療）や説明同意を審査、助言等している。